

行政報告

令和5年11月28日

伊豆市長 菊地 豊

令和5年伊豆市議会12月定例会の冒頭にあたり、行政報告を申し上げます。

1 市民との懇談会の開催について

去る8月から10月にかけて、市内こども園保育園の各園で保護者懇談会を、旧小学校区単位で地区懇談会をそれぞれ開催しました。

保護者懇談会では、保護者の皆さんが日頃不便に感じていることや困っていること等について、直接お話を伺いました。

また、地区懇談会では、私から市の健全な財政状況や災害死者ゼロを目指す取り組み等について説明しました。その後の意見交換では、小児科不足や修善寺地区の小学校の再編、公共施設の集約、人口減少により地域の奉仕作業が困難になっている状況等に関する様々なご意見をいただくなど、地域の抱える課題について活発な意見交換ができたものと考えております。

今回、皆様からいただいたご意見を基に、安心して暮らせるまちづくりを目指して、引き続き市政に取り組んでまいります。

2 緊急経済対策について

物価高騰の影響を受けた市民生活に対する支援と市内経済の振興を図るため、キャッシュレス決済ポイントの還元とプレミアム付き商品券「いずっち券」の発行を行いました。

キャッシュレス決済ポイントの還元は、9月1日から1ヶ月間実施し、還元額として7,600万円、市内店舗での消費総額は、4億5,400万円にのぼる経済効果となりました。

なお、「いずっち券」は、10月2日から29,000冊、総額1億7,000万円分を完売しましたが、11月13日に開始した2次販売において、販売方法や告知等の不手際により、多くの方が購入できない事態となりました。市民の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

現在、国から補正予算対応による新たな物価高騰対策が求められておりますので、今回の反省を踏まえた商品券事業について、今議会に追加の補正予算を上程させていただく予定です。

3 中伊豆温泉病院の移転について

去る11月10日にJA静岡厚生連中伊豆温泉病院の竣工式が行われ、来る12月1日に新病院として開院します。

新病院は、一般病棟のほか、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を有し、合計228床を備えています。また、外来や温泉を利用した水中運動療法の施設等が充実し、より地域に密着した病院となります。

今後は、県東部地区の健康管理やリハビリテーションの拠点機能に加え、地域医療を支える中核病院としての役割も期待しています。

4 民間企業からの職員の受入れについて

民間活力を導入し、市政の活性化と効率的な行政運営を図ることを目的として、去る9月19日に三島信用金庫と行政実務研修派遣に関する協定を締結しました。

10月1日から1年半の期間で1名の派遣を受けており、企画財政課で主にシティセールスやふるさと納税の業務に従事していただいています。

この人事交流により、互いのノウハウを取り入れ、相乗効果が図れるものと期待しています。

5 デフリンピックの開催に向けて

令和7年11月に聴覚障害者のためのオリンピック、デフリンピックが日本で初めて開催されることとなり、本市の日本サイクルスポーツセンターで自転車競技が行われます。

これに先立ち、去る10月7日にデフスポーツの魅力や意義を伝え、共生社会の実現を目指して、現役デフアスリートによる講演会を開催し、選手の競技にかける思いなどをお話しいただきました。

デフリンピック開催を契機に、手話講座等による手話の普及活動をはじめ、障害のある人すべてが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めてまいります。

6 公募型サウンディングの実施について

修善寺虹の郷及び達磨山観光施設の民営化に向け、民間事業者の意向や市場動向を把握するため、公募型サウンディング調査を実施することとし、去る10月25日から参加事業者の募集を開始しました。

今後は、申し込みのあった事業者との意見交換等を経て、来年2月には、調査結果をまとめる予定です。

民間事業者のノウハウや柔軟な意見を取り入れ、観光施設の更なる集客や有効活用を図り、地域の活性化に繋がりたいと考えております。

7 新中学校の開校に向けて

新中学校の校舎建築工事は、現在、基礎工事がほぼ完了し、建物の躯体工事に移行します。

また、隣接する（仮称）日向公園の整備工事も本格的に始まり、互いの進捗管理や懸案事項を調整するため、工事安全協議会を立ち上げるなど、安全管理に努めています。

す。

開校に向けては、天城中学校と中伊豆中学校の合同音楽発表会を開催するなど、学校間の交流を図っています。今後も、授業等を通じて、生徒同士が交流できる機会を設けるなど、開校に向けた取り組みを進めてまいります。

8 牧之郷駅前整備事業について

牧之郷地区において、多世代共生のまちづくりを目指し、令和3年度から牧之郷駅西側にロータリーや憩いの場等を整備しています。現在、最終段階となる広場の工事を進めており、年度内の完成を予定しています。

子どもの遊び場や多世代が集う憩いの場として賑わいの創出を図るほか、利便性の向上により、牧之郷駅周辺がまちづくりの新たな拠点となり、定住促進に繋がることを期待しています。

9 「東アジア文化都市2023静岡県」関連事業について

「東アジア文化都市2023静岡県」の関連事業として、伊豆地域では、10月に開催した『伊豆文学祭』を皮切りに、様々な文学事業を行っています。中でも本市は、絵本作家の原画展や講演会、井上靖と敦煌にまつわるシンポジウム、語り部による朗読会や湯ヶ島の文学散歩など、文学に特化したイベントを数多く開催し、「伊豆文学」を広く発信いたしました。

今後も文学事業を継続し、「伊豆文学」の聖地として地域の魅力を高めてまいります。

10 津波防災まちづくりについて

11月5日の津波防災の日に併せて、松原公園でイベントを開催しました。松原公園に建築中の津波避難複合施設「Terrase Orange Toi (テラッセ オレンジ トイ)」の工事状況の説明や防災ゲーム等による津波防災の啓発を行い、市民や観光客など約800人が来場しました。また、観光客の避難を想定した津波避難訓練では、地元の屋形区民が参加し、「テラッセ オレンジ トイ」への避難行動等を検証しました。

これらの取り組みにより、土肥地区の地域一体となった津波防災まちづくりの推進と本施設の完成に向けた機運醸成が図れたものと考えております。

11 ふれっぷの休館について

中伊豆室内温水プールは、来年度に大規模改修工事を予定していることから、令和6年4月1日から1年間、休館することといたしました。

指定管理者については、今年度末で契約期間が終了するため、改修工事終了後の令和7年度から新たな指定管理者による運営を開始する予定です。

市民の皆様にはご不便をおかけしますが、施設を長く維持するために必要な工事となりますので、ご理解賜ります様、お願いします。